

第2学年 社会科(歴史的分野)学習指導案

1 単元名 「産業の発達と幕府政治の働き」 ―田沼の政治と寛政の改革― (東京書籍)

2 単元について

- 本単元は、学習指導要領の内容(4)エを受け、「江戸幕府(以下、幕府)の政治改革」について、百姓一揆に結び付く農村の変化や商業の発達などへの対応という観点から、代表的な事例として田沼意次と松平定信の政治改革を取り上げる。その中で、幕府の財政悪化の背景に着目し、幕府の政治が次第に行き詰まりを見せたことを理解させることをねらいとする。

元禄時代以降、幕府は、明暦の大火や徳川綱吉の放漫財政、鉾脈枯渇による鉾山収入の激減などをきっかけに財政難に陥る。幕府は、財政を立て直すために政治改革を行ったが、自然災害や貨幣経済の広がりによる農村の生活の変化により、財政難は続いた。本小単元では、この財政難を乗り越えるために行われた田沼意次と松平定信の政治改革の内容を比較し考察させる。生徒は、この学習を通して、幕府の政治の動きを捉え、幕府の政治改革について説明できるようになると考える。

- 本学級は、社会科に興味をもって意欲的に学習する生徒が多い。また、ペアやグループなど小集団での活動を好む生徒が多い。社会科の学習を楽しんでいる一方で、資料を読み取ったり、自分の考えを書いたり、説明したりすることが苦手と感じている生徒も多い。
- 本小単元の学習過程を「学習問題をつかむ」「調べる」「考え・まとめる」とし、幕府が政治改革を行った理由、目的や内容などの基本的な知識を習得させ、それらを活用させながら「意思決定を取り入れた討論型の学習」を展開する。その中で、幕府の財政悪化の背景を理解させることをねらいとする学習問題Ⅰと、それを基に田沼意次と松平定信が行った政治改革の内容について考えることをねらいとする学習問題Ⅱを設定する。

指導に当たっては、「学習問題をつかむ」「調べる」過程において、本単元の授業の最初に幕府の財政が次第に悪化していくことに気付かせ、その要因を探る学習問題Ⅰ「どうして江戸幕府の財政は悪化していったのだろうか」を設定する。次に、農業や諸産業の発達による貨幣経済の広がりが社会にどのような影響をもたらしたのか、百姓一揆や打ちこわしが多く行われるようになった要因は何か、徳川綱吉はどのような政治改革を行ったのかなどの点に着目させ、学習問題Ⅰの解決に向けて調査活動を行わせる。これにより、幕府の財政悪化の原因や当時の社会情勢についてまとめていく。その後、それらの原因を踏まえて、徳川吉宗、田沼意次、松平定信などが幕府の財政を立て直すために行った政治改革の内容について、資料などを基にまとめさせることで、幕府の政治が次第に行き詰まりを見せたことを理解させる。その中で、代表的な事例として「白河の清きに魚のすみかねて、もとのにごりの田沼こひしき」という狂歌を取り上げ、政策を比較しやすい田沼意次と松平定信の政治改革に焦点化し、それぞれを考察させる。これにより、幕府の政治改革について、更に理解を深めるための学習問題Ⅱ「田沼意次と松平定信、江戸幕府の財政立て直しに、より貢献したのはどちらか」を設定する。「考え・まとめる」過程においては、学習問題Ⅱを論題に議論させ、学習してきた内容を基に意思決定を迫り、諸資料を活用して討論型の授業を展開していく。これにより幕府の政治改革について自分の言葉で説明できるようにさせたい。

3 単元の目標

- (1) 産業の発達や幕府政治の動きにおいて、江戸幕府の財政悪化の原因や政治改革に対する関心を高め、意欲的に追究し、近世の日本の特色を捉えようとさせるとともに、近世の文化遺産を尊重しようとさせる。

- (2) 産業の発達における社会の変化など江戸幕府の財政悪化の原因や当時の社会情勢について資料等に基づいて考えさせ、財政悪化の原因を考察させるとともにそれらを適切に表現させる。また、幕府政治の動きを捉えさせ、政治改革について多面的・多角的に考察させ、公正に判断させて、自分の考えを適切に表現させる。
- (3) 産業の発達や幕府政治の動きにおいて、江戸幕府の財政悪化の原因やそれに対する政治改革に関する様々な資料を収集させ、有用な情報を適切に読み取ったり、図表などにまとめたりさせる。
- (4) 産業の発達や幕府政治の動きにおいて、江戸幕府の財政悪化の原因やそれに対する政治改革の内容を理解させるとともに、学問の発達や文化の特色について、社会の動きとの関連を理解させ、その知識を身に付けさせる。

4 評価規準

社会的事象への 関心・意欲・態度【関】	社会的な 思考・判断・表現【思】	資料活用の 技能【技】	社会的事象についての 知識・理解【知】
○産業の発達や幕府政治の動きにおいて、江戸幕府の財政悪化の原因や政治改革に対する関心を高め、意欲的に追究し、近世の日本の特色を捉えようとするとともに、近世の文化遺産を尊重しようとする。	○産業の発達における社会の変化など江戸幕府の財政悪化の原因や当時の社会情勢について資料等に基づいて考え、財政悪化の原因を考察するとともにそれらを適切に表現している。 ○幕府政治の動きを捉え、政治改革について多面的・多角的に考察し、公正に判断して、その過程や結果、自分の考えを適切に表現している。	○産業の発達や幕府政治の動きにおいて、江戸幕府の財政悪化の原因やそれに対する政治改革に関する様々な資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	○産業の発達や幕府政治の動きにおいて、江戸幕府の財政悪化の原因やそれに対する政治改革の内容を理解し、その知識を身に付けている。 ○学問の発達や文化の特色について調べ、社会の動きとの関連を理解し、その知識を身に付けている。

5 単元計画（全8時間 本時5/8）

過程	主な学習活動(○)	教師の働き掛け(○)	【主な評価】(・)	時配
学習問題をつかむ	○農業や諸産業の発達について知り、貨幣経済が広がり、町人の力が増したことを理解する。	○農業や諸産業の発達に着目させ、貨幣経済が広がった理由を教科書の内容や資料を基に考えさせる。 ○農業や諸産業が発達する一方で幕府の財政は悪化していったことを伝え、学習問題Iを設定する。	・産業の発達によって貨幣経済が進展し、財力を付けた町人の力が増していったことを理解し、その知識を身に付けている。 【知】	1
	どうして江戸幕府の財政は悪化していったのだろう。《学習問題I》			

調 べ る	○都市の繁栄と徳川綱吉の政治について理解する。	○三都をはじめとして、都市が発達した理由を政治や経済の仕組みなどから考えさせる。 ○徳川綱吉の政治について資料などを利用して調べてまとめ、その中から財政難へとつながる要因を探らせる。	・徳川綱吉の政治について理解し、その知識を身に付けている。 【知】	1
	○徳川吉宗の政治改革、社会の変化(貨幣経済の広がり、百姓一揆や打ちこわし)について理解する。	○徳川吉宗はどのようにして幕府の財政を立て直そうとしたか教科書などを基にまとめさせる。 ○貨幣経済の広がりによる農村の変化と百姓一揆や打ちこわしが盛んに行われるようになった原因を考えさせ、財政難へとつながる要因を探らせる。	・農村の変化や「百姓一揆・打ちこわしの発生件数」の資料を適切に読み取ったり、まとめたりしている。 【技】	1
	○田沼意次の政治と松平定信の政治について理解する。	○田沼意次と松平定信の政治を比較し、目的や内容などについて共通点と相違点を考えさせる。	・田沼意次と松平定信の政治を比較し、政治改革の目的や内容などについて考察し、説明している。 【思】	1
考 え ・ ま と め る	○既習内容を基に学習問題Ⅰに対しての考えをまとめ、田沼意次と松平定信の政治改革について、どちらが幕府財政の立て直しに、より貢献したのかを資料などを参考に判断し、理由も踏まえて最初意思決定を行う。 (意思決定1)	○幕府が財政難になった原因や当時の社会情勢をまとめて理解させた上で、田沼意次と松平定信の政治改革のメリット・デメリットについて資料などを基にまとめさせる。 ○どちらが幕府財政の立て直しに、より貢献したのか考えさせ、最初の意思決定をさせる。	・幕府が財政難になった理由や当時の社会情勢を基に、田沼意次と松平定信の政治改革を比較し、より幕府財政の立て直しに貢献した改革について自分の考えをもち、適切に表現している。 【思】	1 本 時 (5/8)
	論題 田沼意次と松平定信、江戸幕府の財政立て直しに、より貢献したのはどちらか。《学習問題Ⅱ》			
	○学習問題Ⅱに対して、他者と討論を行い、最終的な意思決定を行う。 (意思決定2)	○既習内容や資料、他者の意見などを基に、江戸幕府の将軍の立場から田沼意次と松平定信、どちらが幕府財政の立て直しに、より貢献したのか考えさせ、最終的な意思決定をさせる。	・他者の意見を参考にし、どちらが幕府財政の立て直しに、より貢献したのか自分の最終意見を適切に表現している。 【思】	1
	○政治の動揺と社会の変化の中で発展した学問や文化の特色について	○学問の発達や文化の特色について調べ、社会の動きとの関連を考えさせる。	・学問の発達や文化の特色について、学問や文化が生ま	

理解する。		れた背景を理解し、その知識を身に付けている。【知】	1
○外国船の接近に対する幕府の対応と水野忠邦の政治について理解する。	○外国船の接近や大塩の乱、天保の改革について調べ、幕府政治にどのような変化が見られたのかを考えさせる。	・外国船の接近に対する幕府の対応や大塩平八郎が乱を起こした理由、さらに天保の改革の内容を調べ、幕府政治が行き詰まっていたことについて理解し、その知識を身に付けている。【知】	1

6 本時の目標

幕府が財政難になった原因や当時の社会情勢を基に、学習問題Ⅱ「田沼意次と松平定信、江戸幕府の財政立て直しに、より貢献したのはどちらか」について既習の知識や資料等を基に、小グループでの話し合いを通して、自分の意見を適切に表現することができる。

7 展開(全8時間 本時5/8)

学 習 活 動	教師の働き掛け(○)と評価【】
1 学習のめあてを確認する。	○「白河の清きに魚のすみかねて、もとのにごりの田沼こひしき」の狂歌を紹介し、田沼意次と松平定信の政治改革を通して、幕府の政策について、発展的な学習を行うことを伝える。
めあて 田沼意次と松平定信の政治改革について考えよう。	
2 幕府が財政難になった原因や当時の社会情勢を既習内容を基に振り返り、確認する。	○幕府が財政難になった原因や当時の社会情勢を3つの観点から既習内容や資料を参考にワークシートにまとめさせる。
予想される生徒のワークシート及び板書例	
観点① 徳川綱吉はどのような政治を行ったのか。	①学問の興隆に伴う寺社の造営や豪華な建物の建造、明暦の大火後の江戸再建による出費の増加。金銀鉱山の産出量の減少。貨幣の質を落としたことによる物価の高騰など。
観点② 農業や諸産業の発達により貨幣経済が広がり、社会にどのような影響をもたらしたのか。	②商人が力をもつようになり、大名をはじめとする武士は財力のある商人を頼るようになり、幕府政治の根幹である身分秩序に影響を与える。農村では小作人と地主に分かれ、貧富の差が大きくなるなど。
観点③ 百姓一揆や打ちこわしが多く行われるようになった要因は何か。	③ききんや浅間山の噴火や冷害など自然災害がしばしば発生し、厳しい年貢の取り立てや代官の不正を行ったなど。

3 財政を立て直すために行われた田沼意次と松平定信の政治改革を比較し、メリット・デメリットを考える。

- ・田沼意次の政治改革
(株仲間の公認, 長崎貿易の奨励, 印旛沼の開拓)
- ・松平定信の政治改革
(倭約令, 棄捐令, 帰農令, 人足寄場の設置, 寛政異学の禁)

社会的な問題(答えさせるための問い)
「幕府の財政難が続いていること」

○学級全体で田沼意次と松平定信の政治改革について大まかに確認をした後, まず, 個人で民衆側と幕府側の視点から2つの改革のメリット(よい点)・デメリット(問題点)について考え, 次に, グループに分かれて確認のための話し合いをさせる。

○予想されるメリット・デメリットの例(民衆側)

人物	メリット	デメリット
田沼意次	<ul style="list-style-type: none"> ・株仲間は地位や特権をもらえる。(商人) ・貿易の拡大によって商業がより活性化する。(商人) ・新田を開発することで年貢米を多く取れば商業も活性化する。(商人) 	<ul style="list-style-type: none"> ・株仲間が営業を独占してモノの値段が高くなる。(農民) ・農民にはあまりメリットがない。
松平定信	<ul style="list-style-type: none"> ・倭約することによってききんに備えることができる。 ・浮浪人や無宿人が職業訓練を受け, 社会復帰できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・厳しい統制や倭約の強制で貧しい生活を強いられる。 ・借金が帳消しになると札差が巨額な損失を被る。 ・職業訓練と称し, 強制労働を強いられる。 ・自由に学問を学べない。

○予想されるメリット・デメリットの例(幕府側)

人物	メリット	デメリット
田沼意次	<ul style="list-style-type: none"> ・特権を与える代わりに株仲間から営業税を取れる。 ・貿易の拡大によって不足している金銀を外国から輸入できる。 ・新田を開発することで年貢を多く取れる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・商人は地位や特権を求めてわいろが横行し, 政治が乱れる。 ・農民が商売するために都市へ流出し, 農村の荒廃が進む。
松平定信	<ul style="list-style-type: none"> ・倭約することによってききんに備えることができる。 ・旗本・御家人の借金がなくなり救済される。 ・農民が戻ってくるので農村が復興する。 ・浮浪人や無宿人が職業訓練を受け, 社会復帰すれば労働力が上がる。 ・学問を統一することで風紀を正せる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・厳しい統制や倭約の強制で民衆の不満が高まる。

4 学級全体でメリット・デメリットについて意見を交換し, 政治改革について深く知り, 学習問題Ⅱを設定する。

○どちらの政治政策にも一長一短あり, 最終的にはどちらも財政難を立て直すことはできず, 幕府滅亡への一途をたどってしまうことを説明する。また, 民衆側・幕府側, 両方のメリット・デメリットを踏まえた上で, あくまでもこれらの改革の目的は幕府の財政を立て直すことであることを再確認し, 「自分だったらどのようにして財政を立て直したか」という言葉を投げ掛け, 学習問題Ⅱへと導く。

論題 田沼意次と松平定信, 江戸幕府の財政立て直しに, より貢献したのはどちらか。《学習問題Ⅱ》

5 既習の知識や資料等を参考に意思決定を行い、自分の考えをワークシートに記述する。 (意思決定1)	○本時の学習を終えた時点での意思決定を行わせる。 【評価】
6 次時の学習について確認する。	○次時は導き出した学習問題について討論することを知らせる。

8 本時の評価

本時の評価規準	幕府が財政難になった原因や当時の社会情勢を理解し、学習問題Ⅱ「田沼意次と松平定信、江戸幕府の財政立て直しに、より貢献したのはどちらか」について既習の知識や資料等を基に、自分の意見を適切に表現することができる。 (社会的な思考・判断・表現)		
判定基準 (判断のめやす)	「十分満足できる」状況(A)	「おおむね満足できる」状況(B)	「努力を要する」状況(C)
	より貢献したのはどちらかについて、根拠を基に自分の考えを記述している。	より貢献したのはどちらかについて、自分なり考えを記述している。	(B)に達していない記述
→(B), (C)と判断した生徒への支援策		→意思決定は、根拠となる資料を用いて記述することが大切であることを伝える。	→個別に政治改革について補足説明し、意思決定に向かわせる。
評価方法	ワークシートの記述		